

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2022 年 7 月 20 日

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー

欧州車専用高性能バッテリー「GYX シリーズ」を新発売

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー(社長：湯浅 栄人、本社：東京都港区)は、2022 年 9 月より欧州車専用高性能バッテリー「GYX シリーズ」2 タイプ 8 型式を発売します。

欧州車専用高性能バッテリー「GYX シリーズ」は、欧州車に求められる EN 規格^{※1}に準拠し、アイドリングストップ車の過酷な使用環境下における高い耐久性と充電受入性を実現したバッテリーです。近年、欧州車メーカーでの採用が急速に増加している AGM タイプ^{※2}(アイドリングストップ車対応/VRLA 電池)と EFB タイプ^{※3}(アイドリングストップ車対応/液式電池)の 2 タイプ 8 型式をラインアップし、幅広い車種への補修交換需要をカバーします。

当社は今後も、時代によって移り変わる自動車用バッテリーへのご期待・ご要望に、高い技術力でお応えします。

※1 European Norm(欧州統一規格)の略称。

※2 「GYX シリーズ」の AGM タイプは、EN 規格(EN50342-6)の最高基準を満たしたアイドリングストップ車対応電池です。補水不要な VRLA(制御弁式)タイプの電池で、AGM (=Absorbed Glass Mat)を採用することにより、アイドリングストップ車で要求される最高レベルの耐久性を実現しています。

※3 「GYX シリーズ」の EFB タイプ(=Enhanced Flooded Battery)は、EN 規格(EN50342-6)の一般基準を満たしたアイドリングストップ車対応電池です。液式タイプの電池で、アイドリングストップ車で要求される耐久性を実現しています。

【GYX シリーズの特長】

1. アイドリングストップ車の過酷な使用環境に対応する、高充電受入性と耐久性を実現

- ・高い充電受入性を実現し、バッテリー劣化の一因であるサルフェーション現象^{※4}を抑制しているため、放置時間が長く稼働の少ない車にも強い仕様です。(EFB タイプのみ)
- ・微細ガラスマットを採用することで、性能低下の原因である内部ショートと活物質脱落を抑制しています。(AGM タイプのみ)
- ・エンベロープセパレータを採用することで、性能低下の原因である内部ショートと活物質脱落を抑制しています。(EFB タイプのみ)

2. 優れたメンテナンスフリー性能(補水不要)、減液抑制性能

- ・バッテリー内で発生した酸素ガスを水に戻す「負極吸収反応」により液減りしにくく、液面点検や補水のメンテナンスが不要です。(AGM タイプのみ)
- ・トップカバーとセカンドカバーの二重蓋構造により、バッテリー内部で蒸発した液を結露・回収し、減液を抑制しています。(EFB タイプのみ)

3. 優れた安全性・充実のアクセサリ

- ・防爆機能付き。
- ・持ち運びに便利な「とって」付き。
- ・インジケータ付き。(EFB タイプのみ)

※4 サルフェーション現象とは放電生成物である硫酸鉛が結晶化することで充電反応ができなくなり、電気を取り出しにくくなる現象です。チョイ乗り使用で充電不足が続いたり、車両の使用頻度が少なく長時間放電された状態が続くと発生しやすくなります。

【製品補償期間】

24 ヶ月または 4 万 km(ご購入後どちらか早く到達するまで)

【発売年月】

2022年9月

【型式一覧】

タイプ	型式名	とって	インジケータ	ISS車対応	HV補機対応	製品補償期間
EFB	GYX-LN2-EFB	○	○	○	×	24ヶ月または4万km (ご購入後どちらか早く 到達するまで)
	GYX-LN3-EFB					
	GYX-LBN4-EFB					
	GYX-LN5-EFB					
AGM	GYX-LN2-AGM	×	×	○	○	
	GYX-LN3-AGM					
	GYX-LN4-AGM					
	GYX-LN5-AGM					

【メーカー希望小売価格】

オープン価格

【写 真】

AGMタイプ



EFBタイプ



[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー 営業企画部

TEL 03-5402-5733

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ コーポレートコミュニケーション部

TEL 075-312-1214

[資料配布]

7月20日(水)午前 10:00 京都経済記者クラブ、大阪機械記者クラブ